



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月21日

上場取引所 東

上場会社名 総合メディカル株式会社

コード番号 4775 URL <http://www.sogo-medical.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員

(氏名) 田代 五男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 専務執行役員

(氏名) 黒田 誠

TEL 092-713-7611

四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	88,472	12.0	4,031	42.5	4,129	37.6	2,118	27.7
27年3月期第3四半期	79,011	6.1	2,828	△7.7	3,001	△3.7	1,658	△5.3

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 2,147百万円 (19.1%) 27年3月期第3四半期 1,803百万円 (△0.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	141.67	—
27年3月期第3四半期	114.88	—

(注) 当社は平成27年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	74,466		30,301		40.4	
27年3月期	69,811		26,521		37.7	

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 30,115百万円 27年3月期 26,336百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00
28年3月期	—	22.50	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	22.50	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は平成27年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、平成28年3月期、平成28年3月期(予想)における第2四半期末配当金及び期末配当金については、当該株式分割後の金額を記載しております。

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	120,000	11.2	5,556	10.7	5,500	5.2	3,252	17.2	216.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	15,340,156 株	27年3月期	15,340,156 株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	182,728 株	27年3月期	902,282 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	14,959,290 株	27年3月期3Q	14,438,119 株

(注)当社は平成27年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数(自己株式を含む)、期末自己株式数並びに期中平均株式数(四半期累計)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、業績の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

	27年3月期 第3四半期	利益率	28年3月期 第3四半期	利益率	増減額	増減率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
売上高	79,011		88,472		9,461	12.0
東日本	28,815		31,508		2,693	9.3
医業支援	6,194		5,326		△868	△14.0
薬局	22,620		26,182		3,561	15.7
西日本	20,750		24,564		3,813	18.4
医業支援	6,191		5,359		△832	△13.4
薬局	14,558		19,205		4,646	31.9
九州	27,763		29,558		1,794	6.5
医業支援	5,630		4,305		△1,324	△23.5
薬局	22,133		25,252		3,119	14.1
その他	1,681		2,841		1,160	69.0
営業利益	2,828	3.6	4,031	4.6	1,203	42.5
東日本	312	1.1	564	1.8	252	80.6
西日本	767	3.7	1,450	5.9	683	89.1
九州	1,739	6.3	2,154	7.3	415	23.9
その他	444	26.5	304	10.7	△140	△31.6
調整額	(435)	—	(442)	—	△7	—
経常利益	3,001	3.8	4,129	4.7	1,127	37.6
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,658	2.1	2,118	2.4	459	27.7

当社は、平成26年4月から3年間にわたる中期経営計画「さらなる挑戦 ～安心して暮らせるよりよい社会をめざして～」をスタートし、中期目標、具体的な重点施策を掲げました。中期経営計画2年目の当期は、当社グループ一体となり、今までの取り組みをさらに充実・進化させるとともに、世の中に必要とされる新しいサービスを開発し、社会が抱える課題の解決に挑戦しております。

第3四半期は第2四半期に引き続き、売上高、利益とも増加し、また東日本における売上高も順調に推移しており、当社が目標とする市場相応の業績に着実に近づいております。

医業支援部門ではコンサル部門やレンタル部門の売上高が増加したものの、リース・割賦部門においては、政策的に利益重視の方針を推進した結果、売上減となりました。

医師の開業支援は、当第3四半期中に226件（継承開業や医療モールを含む。）をおこない、転職・開業を希望される勤務医のD to D登録数は、当第3四半期末で60,853名（前期末比4,348名増）となりました。

薬局部門では、当第3四半期中に43店舗（M&Aによる25店舗を含む。）を出店した結果、当第3四半期末の店舗数は575店舗となりました。新規出店の地域別の内訳は、東日本15店舗、西日本23店舗、九州5店舗です。出店した43店舗のうち10店舗が、開業支援先への新規出店分であります。

以上の結果、薬局の既存店の売上増加や、新規出店による増収効果（株式取得した子会社による売上寄与を含む。）などから、当第3四半期の売上高は前年同期比12.0%増の88,472百万円となりました。利益面では、営業利益は同42.5%増の4,031百万円、経常利益は同37.6%増の4,129百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同27.7%増の2,118百万円となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

① 東日本

リース・割賦部門で売上減となったものの、コンサル部門・レンタル部門の売上増のほか、薬局部門において、新規出店による増収効果などから、売上高は前年同期比9.3%増の31,508百万円となりました。営業利益は、レンタル部門及び薬局部門での売上増による利益の増加により、同80.6%増の564百万円となりました。

② 西日本

リース・割賦部門で売上減となったものの、コンサル部門・レンタル部門の売上増のほか、薬局部門において、新規出店による増収効果（株式取得した調剤薬局子会社による売上寄与を含む。）などから、売上高は前年同期比18.4%増の24,564百万円となりました。営業利益は、コンサル部門及び薬局部門での売上増による利益の増加により、同89.1%増の1,450百万円となりました。

③ 九州

リース・割賦部門で売上減となったものの、コンサル部門の売上増のほか、薬局部門において、既存店の売上増加や、新規出店による増収効果などから、売上高は前年同期比6.5%増の29,558百万円となりました。営業利益は、コンサル部門及び薬局部門での売上増による利益の増加により、同23.9%増の2,154百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

(単位：百万円)

	27年3月期末	28年3月期 第3四半期末	増減
総資産	69,811	74,466	4,654
うち、現金及び預金	4,988	7,777	2,789
負債	43,290	44,164	874
うち、有利子負債 (注) 1	16,572	18,449	1,876
純資産	26,521	30,301	3,780
自己資本比率 (%)	37.7	40.4	2.7
ネットD/Eレシオ (倍) (注) 2	0.44	0.35	△0.09

(注) 1 有利子負債は貸借対照表に計上したリース債務、割賦未払金を含む。

2 ネットD/Eレシオ (ネット・デット・エクイティ・レシオ) の算出方法：

(有利子負債－現金及び預金) ÷ 自己資本

当第3四半期末の総資産は、前期末比4,654百万円増加の74,466百万円となりました。流動資産は、前期末比2,665百万円増加の39,250百万円となりました。これは、現金及び預金が2,789百万円増加したことが主な要因であります。固定資産は、前期末比1,989百万円増加の35,215百万円となりました。これは、のれんが1,548百万円増加したことが主な要因であります。

当第3四半期末の負債は、前期末比874百万円増加の44,164百万円となりました。流動負債は、前期末比381百万円減少の29,727百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が222百万円増加したものの、未払法人税等が935百万円減少したことが主な要因であります。固定負債は、前期末比1,256百万円増加の14,436百万円となりました。これは、長期割賦未払金が855百万円、リース債務が482百万円減少したものの、長期借入金が増加したことが主な要因であります。なお、有利子負債 (リース債務、割賦未払金を含む) は、前期末比1,876百万円増加し18,449百万円となりました。有利子負債から現金及び預金を差し引いた金額を自己資本で割ったネットD/Eレシオは、前期末比0.09ポイント減の0.35倍となりました。

当第3四半期末の純資産は、前期末比3,780百万円増加の30,301百万円となりました。これは、配当金の支払いにより629百万円減少したものの、株式交換に伴う自己株式の処分により2,262百万円増加し、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により2,118百万円増加したことが主な要因であります。以上の結果、自己資本比率は前期末の37.7%から2.7ポイント増の40.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年4月21日に発表した平成28年3月期の通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、
第1四半期連結会計期間から適用し、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。
また、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。
当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、
四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、
連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、
第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ50百万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,988	7,777
受取手形及び売掛金	17,485	16,952
割賦債権	1,806	1,716
リース債権及びリース投資資産	1,701	1,474
たな卸資産	7,543	8,625
その他	3,078	2,723
貸倒引当金	△19	△19
流動資産合計	36,584	39,250
固定資産		
有形固定資産		
貸貸資産(純額)	5,929	4,973
建物及び構築物(純額)	8,763	9,216
その他(純額)	7,108	8,001
有形固定資産合計	21,801	22,191
無形固定資産		
のれん	5,252	6,800
その他	1,031	972
無形固定資産合計	6,283	7,773
投資その他の資産	5,141	5,250
固定資産合計	33,226	35,215
資産合計	69,811	74,466
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,841	19,063
短期借入金	360	360
1年内返済予定の長期借入金	2,903	3,985
リース債務	363	287
未払法人税等	1,452	517
その他	6,188	5,514
流動負債合計	30,109	29,727
固定負債		
長期借入金	6,835	9,324
リース債務	1,028	546
長期割賦未払金	3,055	2,200
その他	2,260	2,366
固定負債合計	13,180	14,436
負債合計	43,290	44,164

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,513	3,513
資本剰余金	4,136	5,566
利益剰余金	19,255	20,744
自己株式	△1,044	△211
株主資本合計	25,861	29,612
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	475	502
その他の包括利益累計額合計	475	502
非支配株主持分	184	185
純資産合計	26,521	30,301
負債純資産合計	69,811	74,466

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (平成26年4月1日から 平成26年12月31日まで)	当第3四半期連結累計期間 (平成27年4月1日から 平成27年12月31日まで)
売上高	79,011	88,472
売上原価	68,806	75,863
売上総利益	10,204	12,609
販売費及び一般管理費	7,376	8,577
営業利益	2,828	4,031
営業外収益		
受取配当金	20	22
受取賃貸料	28	23
保険解約返戻金	83	36
その他	158	132
営業外収益合計	291	215
営業外費用		
支払利息	55	55
その他	62	61
営業外費用合計	117	117
経常利益	3,001	4,129
特別損失		
減損損失	22	180
関係会社株式売却損	-	87
特別損失合計	22	267
税金等調整前四半期純利益	2,978	3,861
法人税、住民税及び事業税	1,174	1,482
法人税等調整額	145	259
法人税等合計	1,320	1,742
四半期純利益	1,658	2,119
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,658	2,118

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (平成26年4月1日から 平成26年12月31日まで)	当第3四半期連結累計期間 (平成27年4月1日から 平成27年12月31日まで)
四半期純利益	1,658	2,119
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	144	27
その他の包括利益合計	144	27
四半期包括利益	1,803	2,147
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,803	2,145
非支配株主に係る四半期包括利益	0	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年6月15日付で、当社を株式交換完全親会社とし、株式会社祥漢堂を株式交換完全子会社とする株式交換を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、資本剰余金が1,429百万円増加し、自己株式が832百万円減少しております。